

芹沢茂登子の経歴と著作について

生年月日一九三〇(昭和五)年四月三日 東京市小石川区高田老松町に生まれる

本籍地 東京都練馬区西大泉八三一—二八

〔学歴と職業歴〕

- 一九三七(昭和十二)年四月 東京市関口台町尋常小学校入学
- 一九四三(昭和十八)年四月 大阪府立清水谷高等学校入学
- 一九四九(昭和二十四)年三月 東京都立第二高等学校卒業
- 一九四九(昭和二十四)年四月 (株)旺文社に入社
- 一九五一(昭和二十六)年三月 進学のため同社を退職
- 一九五五(昭和三十)年三月 早稲田大学第一文学部英文科卒業
- 一九五五(昭和三十)年四月 東京勤労者音楽協議会事務局勤務
- 一九六五(昭和四十)年六月 家庭の事情で同事務局退職
- 一九六五(昭和四十)年七月—昭和四六年八月 河出書房にて読書相談、東京こども教育センターにて母親相談などの仕事に携わる。
- 一九七一(昭和四十六)年九月—電話相談「赤ちゃん一一〇番」の創設に参加し、(株)ダイヤル・サ

ービスに入社、相談員、担当チーフとして活動。その後、在職中に、昭和五十一年四月～五十二年三月 早稲田大学第一文学部心理学科聴講生、昭和五十二年四月～五十四年三月 早稲田大学大学院「発達心理学」聴講生として学ぶ。

一九七九(昭和五十四)年十月～生活科学研究所へ出向、調査・研究の多くのプロジェクトに参加。その後、(株)ダイヤル・サービスに復帰し、昭和五十六年十二月～ダイヤル・サービスコミュニケーション事業部、昭和五十八年一月～以降、熟年一〇番、ファミリー健康相談、営業推進事業部の各セクションを相談員及び担当チーフとしてその他各種相談の開設、運営、活動に参加、昭和六十三年九月から四カ月間「アメリカ生活一〇番」開設準備のためニューヨークに滞在。

一九九一(平成三)年一月 エグゼクティブ・アドバイザーに就任

一九九二(平成四)年八月～病氣入院、休職

一九九三(平成五)年五月～職場復帰

一九九四(平成六)年五月～一九九八(平成十)年九月 (株)ダイヤル・サービス顧問兼エグゼクティブ・アドバイザーとして相談活動全般の仕事を担当。

【社会的活動歴】

(視覚障害者支援活動)

一九六七(昭和四十二年)四月～一九九八(平成十)年九月 日本点字図書館盲婦人向けテープ雑誌「テープレディー」(その後「ホームライフ」と名称変更)の編集委員に就任

この間、一九八六(昭和六十一年)三月～一九八八(昭和六十二年)七月 身体障害者のための自主的なレコードコンサートのお・「ハーモニーの会」事務局長

一九九四(平成六年)四月～一九九八(平成十年)九月 視覚障害者支援総合センター促進委員

一九九五(平成七年)三月～一九九八(平成十年)九月 日本点字図書館厚生省委託図書選定委員

一九九六(平成八年)年十一月 視覚障害者への電話アドバイスと点字による育児書等の著作に対し「サンクスの会」から表彰、感謝状授与さる。

同年十一月～一九九七(平成九年)年三月 東京家政大学非常勤講師(家政学部、文学部)

(対外的な講演等の活動)

一九七五(昭和五十)年～一九九七(平成九)年 各地の公民館、女性センター、企業などで主と

して「働く女性の生き方」「子育て問題」「女性の能力開発問題」
「高齢者問題」等の研修・講演活動に参加。

(高齢社会をよくする女性の会活動)

一九八四(昭和五十九)年九月 高齢化社会をよくする女性の会に入会、一九八五(昭和六十)年九

月～一九九八(平成十)年九月 同会 運営委員 一九九五(平成

七)年六月～一九九八(平成十)年九月 高齢化社会をよくする女
性の会理事として諸活動に参加。

この間、一九八八(昭和六十三)年三月、ヨーロッパ老人福祉見学
ツアーに参加。

(「サキクサ短歌会」での短歌づくり活動)

一九九三(平成五)年十月 入院生活が短歌づくりのきっかけとなり、「サキクサ短歌会」に
入会し、短歌を生きた証の一つとしていく。

一九九六(平成八)年九月 「サキクサ短歌会」の「準サキクサ賞」受賞。

一九九七(平成九)年四月 「サキクサ」一九九七(平成九)年四月号から一九九八(平成十)
年十二月号まで「女性の短歌から見た昭和と戦争」(一)～(十八)

を連載。短歌雑誌で注目、評価されたが、絶筆となる。

一九九八(平成十)年三月 『サキクサ』二十周年記念号に「大原富枝と『婉』の足跡を訪ねて、そして短歌のことども」を發表。

【一九九八(平成十)年九月二十四日 自宅で膠原病と骨粗鬆症の療養中に死去】

【著作】

(単著)

♣ 『赤ちゃんといっしょー働く女性の妊娠・出産・育児』(平野明子名・ペンネーム) 一九八三年一月 新日本出版社

♣ 『春のソナタ』一九八五年六月 労働旬報社

♣ 『目の見えない友へ』そして目の見える友への子育てアドバイス 一九九三年十一月 盲学生情報センター図書出版

♣ 『病院はおもしろいー入院して見えた人・医療・看護の姿』 一九九五年一月 法研

♣ 『軍国少女の日記』 一九九五年十月 カタログハウス

♣ 『冠婚葬祭アドバイス』(点字) 一九九五年十二月 盲学生情報センター図書出版

♣ 音声版図書テープ『病院はおもしろいー入院して見えた人・医療・看護の姿』 一九九七年四月 オフィス・コア

♣ 「約五十年、働きつづけ、学びつづけてきて」 一九九九年二月 日本女子社会教育会
(共編著)

◆ (赤ちゃん一一〇番) コンサルタント編 「赤ちゃん一一〇番—こんなときどうする すぐ役に立つ育児の心配百科」 一九七三年九月 講談社

◆ 芹沢茂登子・神馬由貴子他著 「育児ノイローゼ」 一九八二年八月 有斐閣

◆ 今野由梨編 「女の一〇番」 一九八六年四月 講談社

◆ 金住典子・芹沢茂登子・渡辺 清編 「女・四十歳からかしく生きる知恵ノート」 一九八七年九月 労働旬報社

◆ 芹沢茂登子・松尾道子著 「わたしの仕事えらび」 一九八八年十二月 労働旬報社

◆ グループわいふ+岩田和子・芹沢茂登子著 「夫と妻の海外勤務心得帳」 一九八九年七月 エール出版社

◆ 熟年一一〇番編 「女房はつらいよ」 一九八九年八月 PHP研究所

◆ 樋口恵子編 「われら有料老人ホーム探検隊」 一九九一年九月 亜紀書房

◆ 樋口恵子編 「有料老人ホーム」 一九九三年五月 亜紀書房

(執筆参加・協力)

★ 長橋千代著 「安心して出産する・働く婦人の初めてのお産」 一九九七年八月 ささら書房

★ 河辺豊子著 「見えなくても愛」 一九八三年二月 グロビュー社

- ★生活科学研究所編「女性が科学をみつめるとき」(「障害者の壁はどこまで取り除けるか」
一九八四年九月 日本放送協会)
- ★岩波書店編集部編「WOMEN 351・女たちは21世紀を」(「子育ての不安と新しい支え手」
一九八四年十月 岩波書店)
- ★城西大学国際文化教育センター水田宗子編「女性と家族の変容—ポスト・ファミリーへ向け
て」(「高齢化する社会と親子・夫婦関係の変化」 一九九〇年六月 学陽書房)
- ★カタログハウスの本「各界の読書人一〇〇人が披露する私の横っ面をほたい本一〇〇冊」
(「澤地久枝著「私の青春日めくり」 一九九二年四月 カタログハウス)
- ★山本直美編集代表「人間の生涯と性4 老年の性—茜色に染まる性愛を」(「敬老の日」 一九
九四年 大月書店)
- ★高齢社会をよくする女性の会編・樋口恵子監修「女・老いにそなえて—第十二回女性による
高齢化社会シンポジウムの記録(これまでの十年、これからの十年)」(「高齢化社会をよ
くする女性の会十年のあゆみ(年表)」 一九九四年九月 ミネルヴァ書房)
- ★高齢社会をよくする女性の会編「男の大往生、女の大後始末」(「お葬式が終わるまで—大葬
儀から無葬式まで」 一九九五年五月 二見書房)
- ★働く母の会編「働く母たちの定年」 一九九七年三月 読売・日本テレビ文化センター

(以上の他、雑誌・新聞原稿、インタビュ、調査報告等多数)

臥しゐても 芹沢茂登子歌集

一九九九年九月二四日 発行

著者 芹沢茂登子

編者 芹沢 寿良

178-0065

東京都練馬区西大泉一丁目十四番十五

TEL 03-33921-0248

FAX 03-33921-0349

発行所 カタログハウス

151-0053

東京都渋谷区代々木二丁目二十二番二

印刷所 大日本印刷

非売品